

2025年度 大学入試センター共通テスト（旧日本史B本試験）解説

第1問 総合。テーマは馬。会話文形式。

- 問1 I（加羅の滅亡）は6世紀、II（倭王武）は5世紀、III（好太王）は4世紀末。よってIII→II→I。
- 問2 aはXの第1項、bはYの第3項が該当する。dはYの第2項が該当する（甲斐・信濃・上野・武蔵は東山道・東海道に含まれる）。cは該当するものがない。
- 問3 X：図1は笠懸の図で、鎌倉武士の武芸の鍛錬であり「遊興」ではない。Y：図2は馬借であり、補足説明にあるように近江（地方）と山城（都）の輸送にあたったので正文。
- 問4 リン：五街道の起点は日本橋が起点なので誤り。レイカ：レポート1に「費用を抑えられ」とあり正しい。ミナミ：レポート1に「信濃国とその周辺」とあるので誤り。
- 問5 ア：馬の改良計画は1906年なので日露戦争。イ：馬政局の廃止は1923年なので、昭和恐慌ではなく国際協調を選ぶ。
- 問6 珍しい古代から近代にまたがる小問。①表のYの第1項より正文。②足軽は応仁の乱以降。③綱吉の天和令から「弓馬の道」が「忠孝を励まし」に変わる。④レポート2による誤文。知識問題に見えて、表やレポートも判断に使うことに気付けるかどうか。

第2問 古代。主に新羅との国際関係。

- 問1 ①仏教は百済から公伝した。
- 問2 ①年表の1行目より7世紀末には新羅と外交関係は途絶えていない。②年表687年より誤文。③年表758年とその前後を見れば正文と分かる。年表760年より誤文。
- ▼ 問3 X：新羅が日本に従属した事実はない。Y：正文。いずれも高校生には半断が難しい。
- 問4 a・bは資料2に「愚かな人民が私財を投げ出して」とあるのでaを、c・dは西海道は九州だからcの太宰府を、e・fは唐がまだ滅亡していないeを選ぶ。
- 問5 a：天武持統朝(表)が7世紀、鳥毛立女屏風(史料1)が8世紀なので、正文。b：表中に駱駝があるので誤文。c：史料2の後半に「朝廷にとって必要な物品は都に進上させて」とあるので正文。

第3問 中世。「中世の石材利用と宗教」がテーマ。

- 問1 ア：平泉の毛越寺は阿弥陀堂建築。イ：室町幕府が保護したのは五山を含む臨濟宗。
- 問2 b：栄西は鎌倉時代、枯山水は東山文化なので誤文。c：義堂周信→夢窓疎石。
- 問3 有名史料問題だが「ヲキメ(負い目)」=借金は連想したい。
- 問4 X：室町幕府にも直属軍(奉公衆)や直轄領(御料所)はある。Y：会合衆→同朋衆。
- ▼ 問5 A：正文。粉挽き白は小麦にも使われ、14世紀=室町時代には二毛作が全国に広がっている。B：表現があやふやで判断が難しいが、図・表1・表2と照合して明確な誤りがないので正文であろう。C：16世紀には後北条氏が勢力を拡大し、鎌倉府は弱体化しているので正文。

第4問 近世。テーマは江戸時代の人命をめぐる政治。

- 問1 ア：寛永の飢饉から田畑永代売買禁令を導いてほしいし、そもそも幕府も藩も土地売買は一度も認めていない。イ：儒教に基づく→文治政治。
- 問2 X：「うわべばかり守り候…不届きに候」なので正文。Y：服忌令は、死穢を忌む期間を定めたもので

あり、穢れを嫌う意識を消滅させないので誤文。

問3 I(西日本の虫害)は享保の飢饉で8代吉宗、II(浅間山の噴火)は天明の飢饉で10代家治、III(明暦の大火)は4代家綱。よってIII→I→II。

問4 a・bではa(大岡忠相)が享保改革で、b(間部詮房)は正徳の治。c・dでは、オランダ語を学んだのはc(青木昆陽)。

問5 a・b:史料2の最後に「三代の治教(儒教政治)に合致している」とあるが、これは儒教思想を「取り入れる」(a)よりも儒教の思想の治世と「重ね合わせる」(b)方が合っている。c・d:朝廷は攘夷が主流であり、dが正文。

第5問 近代。「高輪築堤」がテーマ。

問1 ア・イ:鉄道は工部省。そもそも最初の鉄道(新橋・横浜)開通の時には内務省はまだない。

問2 X:史料に「指図を受くべき」とあるので「幕府に断ることなく」は誤り。Y:史料に「邪宗門御制禁の儀は…先規のごとく」とあるのでキリスト教は解禁しておらず、誤文。

問3 III(日米和親条約)→II(安政の五カ国条約)→I(薩英戦争)。

問4 ①東京美術学校は日本画重視であったから誤文。②メモに「江戸時代の埋立て・石垣造りの技術が用いられた」とあるので正文。③表によれば、お雇い外国人が最も多いのは1874・75年だが、この時の学術教師は技術者より数が少ない。④メモによれば日本人最初の機関士は1879年に誕生しているが、表によれば当時はすでにお雇い外国人は減少傾向にあるので誤文。

第6問 近現代。テーマは産業発展と環境問題。

問1 ア:座繰→器械という流れで考えればよい。イ:岩崎は三菱。

問2 日本鉄道会社(III)は民営鉄道の設立の初期の事例であり、その後民営鉄道がキロ数で官営鉄道を上回る。東海道本線全通(I)は同時期である。その後、20世紀に入って鉄道国有法が出される流れ。満鉄設立(II)は日露戦争後である。よって、III→I→II。

問3 X:「全部を電化」「煤煙から逃れて」などとあり正文。Y:「テレビや電気洗濯機」は高度成長期の「三種の神器」であり、史料1は1928年なので誤文。

問4 ①正文。常に生産+輸入>輸出なので、鋼材は国内で利用されている。②正文。1910年代には大戦景気が含まれている。③金本位制への復帰の影響が現れるのは1930年代なので誤文。④日中戦争以降の経済制裁は1930年代なので正文。

問5 ②史料2には「数十万の人民は財産や職を失い、老幼は倒れ、壮者は他の土地に流離せり」と結果が書かれているが、メモには「このままでは…」なので予想であり、誤文となる。

問6 X:四日市ぜんそくの説明なので三重県(a)。Y:美濃部達吉は東京都知事(d)。

問7 ①「石炭ではなかった」が誤り。

例年通り、時間を要する史料思考問題が多い。時期判断を求められるのも例年通り。現代史はおよそ7点で、現役生向けの「歴史総合+日本史探究」よりも少ない。一方、XY正誤は6問、時代順が4問で、これは多めとなっている。